エストニア・タリン現地原子力セミナー開催

JICC はエストニア政府気候省(MoC)との共催で 2026年9月 24日にエストニア・タリンの MoC の会議室で現地セミナーを開催した。

【経緯/目的】;

エストニアの原子力発電における基盤整備のための国際協力事業として、エストニア政府 MoC と協議の上、「両国のエネルギー政策、規制当局人材育成、原子燃料調達、発電所建設のファイナンス」をテーマにエストニア・タリンで現地セミナーを開催した。

【実施内容】;

セミナーには両国の専門家約40名が参加した。エストニア側からは、エストニア政府 MoC、エストニア政府内務省(MoI)、環境省(規制当局)、原子力発電プロジェクト会社(Fermi Energia)などのステークホルダーが参加し、エストニア政府 MoC からは、エストニア原子力発電プログラムの現状について紹介された。日本側からはエネルギー政策を METI 資源エネルギー庁、発電所建設のファイナンスを日本原電、規制当局人材育成を三菱総合研究所、原子燃料調達を日立 GE ベルノバの専門家による講演が行われた。また両国間で原子力発電建設に関するパネルディスカッションが行われ前向きな意見が交わされた。

【成 果】;

駐エストニア日本大使館 中村特命全権大使に開催の挨拶をいただくと共に、エストニアと日本の両国の専門家による有意義な情報交換を通してエストニアの原子力発電分野の基盤整備向上、両国の原子力発電分野における良好な関係維持に繋がった。

セミナー風景

また、エストニア政府気候省 Linkedin、大使館 HP でも紹介された。 Linkedin 大使館 HP